

正負の数 No.2

組 番 氏名 教師用

1 復習問題 (個人→一斉)

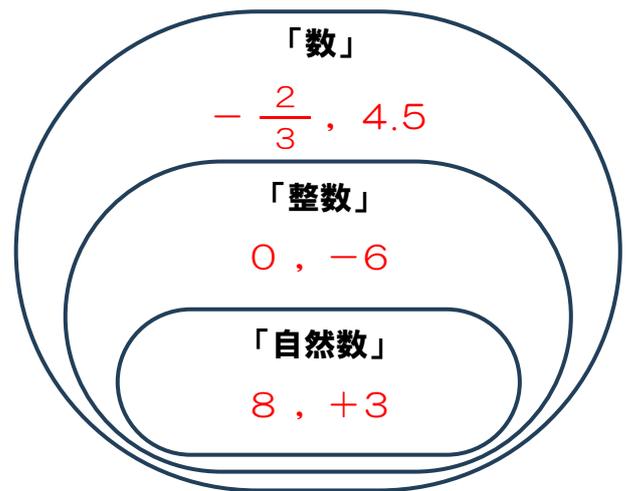
(1) 右のベン図の各集合にあてはまる数を下から選んで書きましょう。

$-\frac{2}{3}$, 0, 4.5, -6, 8, +3

(2) 次の2組の数の大小を不等号を使って表しましょう。

① 0, 9 ② $\frac{6}{10}$, 0.3

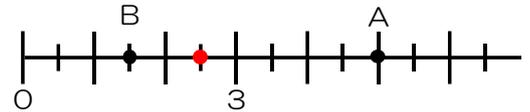
① $0 < 9$ ② $\frac{6}{10} > 0.3$



(3) 右の数直線について次の問いに答えましょう。

① 点A, Bに対応する数を求めましょう。

② $\frac{5}{2}$ に対応する点を数直線上にのりましょう。



A: 5 B: 1.5

前回の授業では0より小さい数「負の数」を学び、広がった数の世界を図に整理しました。今回の授業では、例えば「-1と-3ではどちらの方が大きい数？」というような“数の大小”について考えます。

今日のめあて

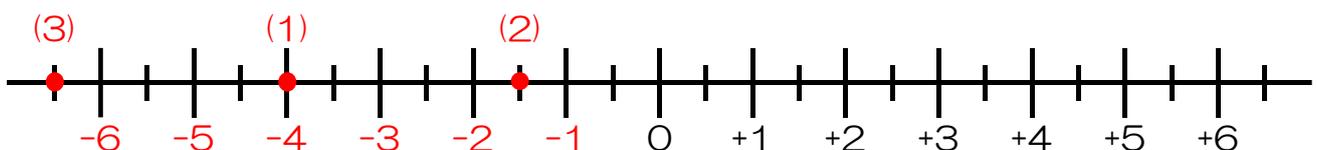
数直線を使って数の大小を考えてみよう。

2 負の数をふくめた数直線をつくってみよう。(個人or周囲→一斉)

問1: 下の数直線に-6, -5, -4, -3, -2, -1を書きましょう。

問2: 下の数直線上で、次の数に対応する点をのりましょう。

(1) -4 (2) $-\frac{1}{2}$ (3) -6.5



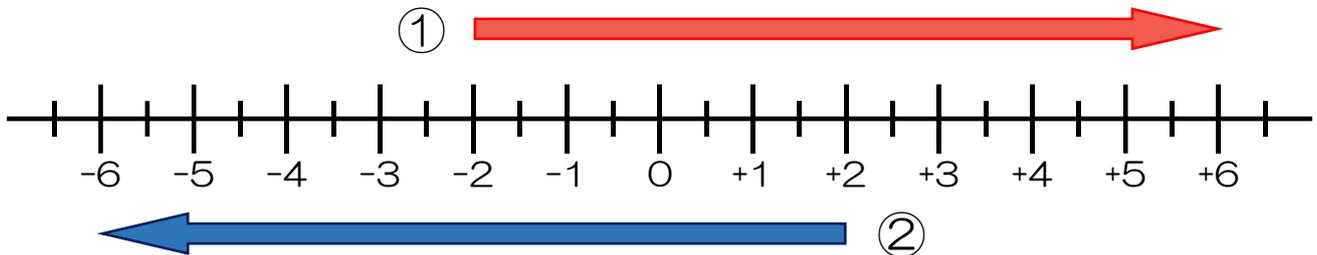
※ 問2について、のりした点が(1)~(3)のどの数に対応しているか示しましょう。

正負の数 No.2

組 番 氏名 教師用

③ 用語の確認（一斉）

【負の数を含めた数直線】



- 数直線上で 0 が対応している点を 原点 という
- 数直線の右の方向を ① 正の方向 ，左の方向を ② 負の方向 という
- 数直線では 右 にある数ほど（ 大きい ・ 小さい ）
逆に 左 にある数ほど（ 大きい ・ 小さい ）

④ 数直線を使って数の大小を考えてみよう。（班→一斉）

問3：次の各組の数の大小を 不等号 を使って表しましょう。

- (1) -4 , -1 (2) -3 , -3.5 (3) 0 , -5 , 2

(1) $-4 < -1$	(2) $-3.5 < -3$	(3) $-5 < 0 < 2$
---------------	-----------------	------------------

※ 例えば「1, 2, 3」という3つの数の大小を 不等号 を使って表す場合、
【 $1 < 2 < 3$ 】 や 【 $3 > 2 > 1$ 】 と表します。

問4：次の3つの数の大小を 不等号 を使って表したものは、表し方が適切ではありません。
適切な表し方になおし、もとの表し方が適切ではない理由を説明しましょう。

【 適切ではない表し方： $+2 < +7 > +1$ 】

適切な表し方 $+1 < +2 < +7$	適切ではない理由 $+7$ が $+2$ と $+1$ より大きいことは表せているが、 $+2$ と $+1$ の大小関係が表せていないため。
--------------------------	---

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、数の大小を「原点からの距離」という新たな視点で考えます。

正負の数 No.2

組 番 氏名

1 復習問題

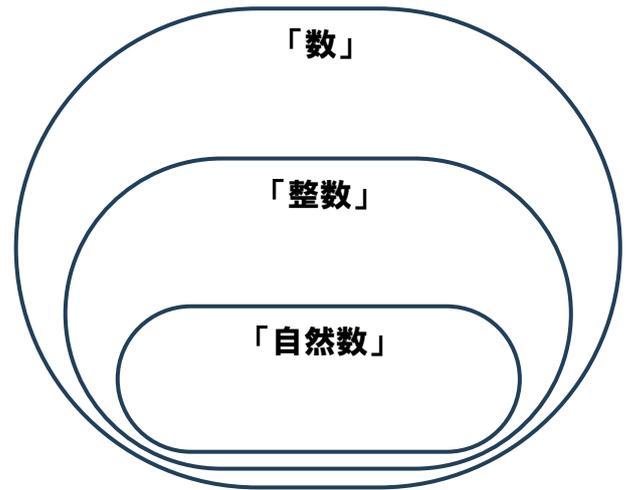
(1) 右のベン図の各集合にあてはまる数を下から選んで書きましょう。

$-\frac{2}{3}$, 0 , 4.5 , -6 , 8 , +3

(2) 次の2組の数の大小を 不等号 を使って表しましょう。

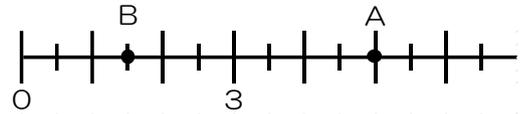
① 0 , 9 ② $\frac{6}{10}$, 0.3

① ②



(3) 右の数直線について次の問いに答えましょう。

- ① 点 A, B に対応する数を求めましょう。
② $\frac{5}{2}$ に対応する点を数直線上にのりましょう。



A: B:

前回の授業では 0より小さい数 「負の数」 を学び、広がった数の世界を図に整理しました。今回の授業では、例えば 「-1 と -3 ではどちらの方が大きい数？」 というような “数の大小” について考えます。

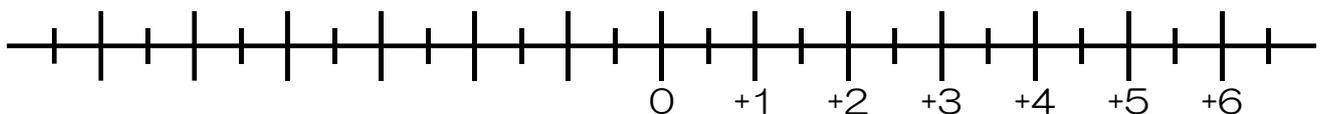
今日のめあて

2 負の数をふくめた数直線をつくってみよう。

問1：下の数直線に -6 , -5 , -4 , -3 , -2 , -1 を書きましょう。

問2：下の数直線上で、次の数に対応する点をのりましょう。

(1) -4 , (2) $-\frac{1}{2}$, (3) -6.5



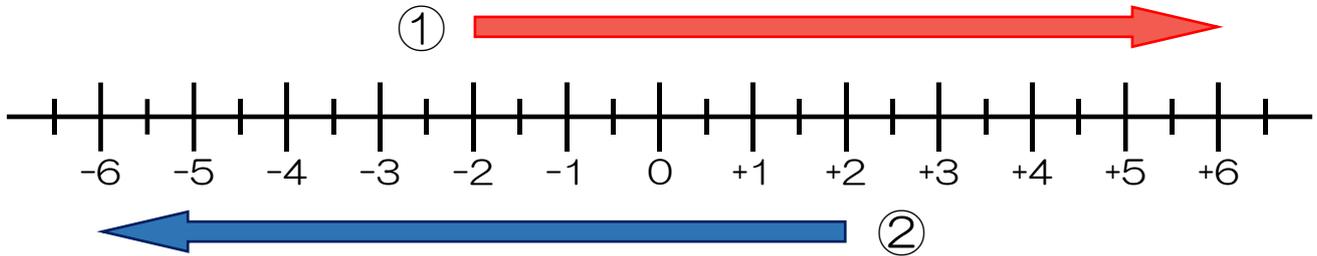
※ 問2について、のりした点が (1)~(3) のどの数に対応しているか示しましょう。

正負の数 No.2

組 番 氏名

③ 用語の確認

【負の数を含めた数直線】



- 数直線上で 0 が対応している点を _____ という
- 数直線の右の方向を ① _____ ， 左の方向を ② _____ という
- 数直線では 右 にある数ほど (大きい ・ 小さい)
逆に 左 にある数ほど (大きい ・ 小さい)

④ 数直線を使って数の大小を考えてみよう。

問3：次の各組の数の大小を 不等号 を使って表しましょう。

- (1) -4 , -1 (2) -3 , -3.5 (3) 0 , -5 , 2

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

※ 例えば 「 1 , 2 , 3 」 という3つの数の大小を 不等号 を使って表す場合、
【 $1 < 2 < 3$ 】 や 【 $3 > 2 > 1$ 】 と表します。

問4：次の3つの数の大小を 不等号 を使って表したものは、表し方が適切ではありません。
適切な表し方になおし、もとの表し方が適切ではない理由を説明しましょう。

【 適切ではない表し方： $+2 < +7 > +1$ 】

適切な表し方	適切ではない理由
--------	----------

振り返り (わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど)

今日の理解度： A B C (振り返りが終わったら、予習 → 問題集)

次回の授業では、数の大小を「原点からの距離」という新たな視点で考えます。